

日時

8月1日(木)
16:30-19:00

定員

280名(現地)
500名(オンライン)

第7回

バイオバンク オープンフォーラム

バイオバンクが
使われる

～あらためて利活用事例を考える～

日本のバイオバンクの歴史は、約20年前から始まり、2024年の現在、多様な特徴を持つバイオバンクが多数存在しています。バイオバンクが何故、存在するのか、それは一言でいえば、将来、試料・情報が利活用できるように備えるためです。

では、それなりに歴史を重ねた日本のバイオバンクの試料・情報は、どのように利活用され、医療などの発展に貢献してきたのでしょうか？

研究・開発に時間がかかることや守秘義務などから、必ずしも利活用の実態はすぐには全てが詳らかにできないこともあり、具体的には多く語られて来ませんでした。

そのバイオバンクの利活用について、多様な事例を語る会を開催します。それぞれのバイオバンクの特徴と、それを利活用した特徴的な事例を語り合い、更なる可能性を考えます。



会場

現地会場

東北大学 星陵オーデトリウム講堂

参加者
先着順参加費
無料

オンライン配信

オンライン会議アプリ『Zoom』を使用

事前に申し込みフォームへアクセスし、参加登録をお願いします。
ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。

登録締め切り

7月31日(水)まで

〈申し込みフォームはこちらから〉

<https://7th-biobank-openforum.peatix.com>

申し込みフォーム

プログラム

総司会 [東北大学東北メディカル・メガバンク機構]
教授 長神 風二

16:30～ はじめに

講演 東京大学医科学研究所バイオバンク・ジャパン

[東京大学医科学研究所バイオバンク・ジャパン]

事務局長 森崎 隆幸

[日本製薬工業協会研究開発委員会]

専門副委員長 安達 秀樹

[株式会社スタージェン]

統計解析事業部 事業部長 上辻 茂男

ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク

[国立がん研究センターバイオバンク]

副バイオバンク長 白石 航也

神戸大学医学部附属病院バイオリソースセンター

[神戸大学医学部附属病院バイオリソースセンター]

副センター長/特命教授 中村 恵宣

[小野薬品工業株式会社]

トランスレーショナル研究部 北島 貴司

東北精神疾患ブレインバンク

[東北精神疾患ブレインバンク] 准教授 國井 泰人

[東京慈恵会医科大学解剖学講座] 助教 吉永 怜史

佐賀大学医学部附属病院メディカルバイオバンクセンター

[佐賀大学医学部附属病院メディカルバイオバンクセンター]

センター長 末岡 榮三朗

[高邦会高木病院]

がんセンター長 荒金 尚子

京都大学医学部附属病院クリニカルバイオリソースセンター

[京都大学医学部附属病院クリニカルバイオリソースセンター]

特任病院教授 田澤 裕光

18:10～ 総合質疑・討論

18:40～ まとめと閉会(19:00終了)

主催・お問合せ先



東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

AMEDゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・ゲノム研究プラットフォーム利活用システム)

「ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク・ネットワーク構築とバイオバンク利活用促進に関する研究開発」

[Mail]contact@biobank-network.jp [Web]https://www.biobank-network.jp

協賛



国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)